

(様式第 9)

東北病医 第 494 号  
平成 23 年 10 月 5 日

東北厚生局長 殿

開設者名 東北大学病院  
里 見

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	102.92 人
--------	----------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	358人	172人	523.0人	看護補助者	117人	診療エックス線技師	人
歯科医師	96人	84人	173.0人	理学療法士	21人	臨床検査技師	99人
薬剤師	67人	1人	67.7人	作業療法士	6人	衛生検査技師	3人
保健師	人	人	人	視能訓練士	10人	その他	人
助産師	61人	1人	61.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	1025人	22人	1041.6人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	18人
准看護師	4人	人	4.0人	栄養士	人	その他の技術員	98人
歯科衛生士	6人	11人	15.4人	歯科技工士	7人	事務職員	302人
管理栄養士	10人	人	10.0人	診療放射線技師	61人	その他の職員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	999.8人	20.6人	1,020.4人
1日当たり平均外来患者数	2,209.8人	528.4人	2,738.2人
1日当たり平均調剤数		1,187.5剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯 /	4人
顎顔面補綴 //	0人
人工括約筋を用いた尿失禁手術 /	7人
腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術 /	1人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術 //	2人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 //	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 \ /	3人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。) //	0人
先天性難聴の遺伝子診断 \ /	0人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術 /	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん ✓	1人 ✓
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん ✓	0人 ✓
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病 ✓	0人 ✓
低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患(薬物療法に対して抵抗性を有するものであって、経皮的冠動脈形成術又は冠動脈バイパス手術による治療が困難なものに限る。) ✓	4人 ✓
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	肺癌患者検体のEGFR遺伝子変異検索に関する研究	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
肺癌患者から採取した癌細胞のEGFR遺伝子変異を調べた上で適切な治療方針を決定している。			
医療技術名	大量出血を伴う手術の麻酔管理	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
出血量5000ml以上の危機的出血に対し、麻酔科が主体となって、関連する検査部、輸血部と連携して患者を救命する。患者の生命が危機的状況にある場面においても、多数の麻酔科医を動員して緻密な麻酔管理を行うことにより、合併症を最小限に抑える。			
医療技術名	乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要			
乳癌組織(パラフィンブロック)を用いHER2遺伝子の増幅を調べる検査。免疫組織化学染色でHER2の発現を検索し、0、1+、2+、3+の4段階に分類。このうち、0、1+はHER2陰性と判断、3+は陽性と判断。2+のみ、FISH検査を追加し、HER2遺伝子の増幅を検索し、陽性、陰性に分類。免疫組織化学染色で2+のうち、FISHで陽性と判明するのは1/3、残りの2/3はFISH陰性(HER2陰性)と判定される。FISH検査は高額なため、まず、免疫組織化学染色で選別してから、3+のみをFISHの対象にしているが、これは、日本の乳癌診療ガイドライン、ASCOガイドラインなどで推奨されている手法である。			
医療技術名	骨軟部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要			
骨軟部腫瘍においては、滑膜肉腫やユーイング肉腫など、遺伝子学的な検査が診断に必須なものがあり、診断確定の目的で行う検査である。また脳腫瘍に関しては、乏突起膠細胞腫における特異的な遺伝子変化が、組織診断の確定のみならず治療効果に関係しており、診断確定、治療方針の決定や予後予測のために必要な検査である。			
医療技術名	覚醒下脳外科手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
脳に存在する機能野(言語野、運動野)を手術中に同定するために、患者を覚醒させ手術をおこなう技術。脳神経外科医の他に、神経麻酔医、脳波技師、高次脳機能学を専門とする医師の参加が必要となる。			
医療技術名	高精度生体計測法(超音波生体顕微鏡)：動脈硬化症および血管炎における動脈壁内部の組織ならびに機能変化の非侵襲的高精度計測	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
超音波を利用して血管壁における複数の計測点の動きを追跡し、そのトラッキング波形の差から血管壁の組織性状を非侵襲的かつ定量的に診断する。これまでの検討から、本測定法は微細な変化を評価できることが明らかにされており、早期の動脈硬化診断や薬剤の治療効果判定に有用であると考えられている。			
医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)に引き続き内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)を施行後、バスケットやバルーンで結石を除去する治療する方法で、ハイレベルな医療治療技術が必要である。			
医療技術名	体外衝撃波による膵石粉碎術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
ESWLを用いて膵石を破砕する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡的粘膜切開剥離法	取扱患者数	216人
当該医療技術の概要 早期食道癌および早期胃癌を内視鏡的に剥離、切除する治療法で、ハイレベルな医療治療技術の人的、物理的集積が必要である。			
医療技術名	高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 新規分子標的薬の使用を含め、総合的な治療技術の集積が必要である。			
医療技術名	肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 肝癌におけるCTと腹部超音波検査の画像をリアルタイムで同期可能な、当院で開発した検査法である。			
医療技術名	唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	取扱患者数	98人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療を行っている。			
医療技術名	唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術を行っている。			
医療技術名	高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療を行っている。			
医療技術名	気道狭窄に対する内ステント留置術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 気道狭窄に対してシリコンステントあるいはメタリックステントを留置し、狭窄改善する。			
医療技術名	婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 新しい方法による医療で、外国で開発され、医学的効果が認められているが、日本では普遍化されていない医療。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(採取・調整・保存)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 患者循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 G-CSF投与により末梢血幹細胞を動員採取した細胞を分離し、凍結保存する。			
医療技術名	前立腺癌に対する強度変調放射線療法(IMRT)	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要 強度変調放射線を用いることで自由度の高い放射線線量分布を達成し、直腸・尿道など前立腺周囲重要臓器の被ばく線量低減を図りながら腫瘍線量を増加することで、進行前立腺癌の治療成績を向上させる放射線療法。			

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
腫瘍周囲の皮下に tracer を投与し、リンパ流によって移動した tracer で標識されたリンパ節を同定して転移の検索を行う。			
医療技術名	遠隔病理診断(テレパソロジー)	取扱患者数	160人
当該医療技術の概要			
テレパソロジー(遠隔病理診断)は地方の病院から遠隔操作により病理画像を伝送し、病理診断を行う遠隔医療の一つである。これにより、病理医が不在の病院における術中迅速診断を可能とし、病理医不足と偏在を補うとともに、地域病院の医療の質の向上、地域医療への貢献に寄与するものである。			
医療技術名	狭心症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋血流と狭心症症状の軽減を目的とする。			
医療技術名	急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
低出力の体外衝撃波を用いた血管新生療法。心筋梗塞慢性期の心不全増悪抑制を目的とする。			
医療技術名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
体外衝撃波発生装置を用いて下腿の虚血部位の筋肉に対し、0.05mJ/mm <sup>2</sup> 程度の衝撃波を照射します。照射は1回8000発の照射を週に3回、3週連続で行っています。9回の照射で合計72000発を照射しています。両名とも歩行距離の延長が見られ、治療に付随する合併症もなく経過観察期間を終了しています。			
医療技術名	精神病発症危険群に対する早期介入	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
精神病発症危険群のための評価尺度CAARMSを用いた診断を行い、精神病発症危険に向けた認知行動療法などのガイドラインにしたがった治療を実施し、精神病発症の予防および発症後の早期介入による予後改善を図る。			
医療技術名	放射免疫療法	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
抗CD20モノクローナル抗体に、放射性同位元素 <sup>90</sup> Yを結合。抗体の体内分布が適切な患者に投与する。			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
同種、血縁、非血縁の骨髄幹細胞、末梢血幹細胞を、前処置後に投与する。			
医療技術名	WT1ペプチドワクチン治療	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
HLA-A2402を有し、標準的な抗がん剤に耐性となった進行膵癌の患者に対し、直前の化学療法と併用しながらWT1ペプチドワクチンをモンタナイドアジュバントとともに両側腋窩、腹部、ソケイ部の6か所に皮内注射する免疫療法。開始時のPerformance Statusがよい場合は、8か月の生存期間中央値が期待できる。			
医療技術名	一絨毛膜双胎に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	腸管不全に対する多角的治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
サイクリックTPN、ω3系脂肪製剤の使用による腸管不全に伴う肝障害の予防および治療。成長ホルモンや新規ビフィズス菌投与によるプロバイオティクスによる腸管機能改善。			
医療技術名	同種末梢血幹細胞移植術(分離・調整・保存)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
ドナー循環血液量の2倍の血液を一定の速度で連続的に体外循環させ、造血幹細胞分画を採取したあと、輸血部細胞プロセッシングセンターにおいて調製、凍結保存し、移植日まで超低温フリーザー内で保管管理する。			
医療技術名	腹式広汎性子宮頸部摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
浸潤子宮頸癌症例に対する子宮温存術式。ハイレベルの総合医療技術及び資源(人的、物的)の集積を必要とするもの。			
医療技術名	人工内耳埋め込み術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
高度難聴者の聴覚再獲得のために、人工内耳埋め込み術と聴覚のリハビリテーションを行っている。			
医療技術名	ドナーリンパ球輸注(採取)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
造血幹細胞移植後に発生した白血病再発治療を目的として、ドナーより採取したリンパ球が患者に輸注される。リンパ球はドナーの末梢血液を連続的に体外循環させ、リンパ球分画より採取する。			
医療技術名	白血球除去(白血病細胞アフェレーシス)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
化学療法に先行する形で、白血病患者末梢血中で極端に増殖した白血病細胞を、患者末梢血液を体外循環させながら排除する操作である。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(赤血球除去)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
ABO・Rh(D)血液型主不適合骨髄移植の際に、ドナー由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄からアフェレーシス装置により、赤血球を除去する操作である。			
医療技術名	血液型不適合骨髄移植(血漿除去)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
ABO血液型副不適合骨髄移植の際に、患者由来赤血球溶血反応を回避する目的で、移植前の骨髄から遠心操作により血漿を除去する操作である。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
ICG赤外線カメラ蛍光造影にてリンパ管を同定し、四肢リンパ浮腫に対しマイクロ下にリンパ管と静脈を吻合する。			
医療技術名	治療抵抗性統合失調症患者へのクロザリルによる治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
クロザリルは、治療抵抗性統合失調症患者における有効性が確認されているが、無顆粒球症、好中球減少症等の重度の副作用が発生する可能性があり、血液モニタリングを要する。看護師、薬剤師、及び血液内科医等と連携をとりつつ治療にあたっている。			

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	経頭蓋磁気刺激による脳損傷後遺症に対する治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
経頭蓋的に脳に磁気刺激を与えることで、神経細胞の活動を賦活または抑制し、脳卒中や脳外傷後の上肢機能や言語機能を改善させる治療			
医療技術名	病的肥満症に対する腹腔鏡下袖状胃切除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
病的肥満症は様々な併存疾患を有し、生命予後を短縮させることが分かっている。内科的治療ではリバウンドが多く欧米では外科的な減量手術(胃の縮小を伴う手術)が一般的である。我が国では施行施設が少なくまだまだ一般的ではない。			
医療技術名	稀少遺伝子疾患の遺伝子診断と遺伝カウンセリング	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
稀少遺伝子疾患に対して遺伝カウンセリングを施行し、遺伝子解析を実施する。			
医療技術名	末期重症心不全患者に対する集学的外科治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
内科的薬物療法では救命できない重症心不全の患者さんに対し、植込型補助人工心臓装着(認定施設限定/東北地方唯一)、及び脳死ドナーからの心臓移植(認定施設/東北地方唯一)を含めた集学的外科治療を行う。			
医療技術名	胸腹部大動脈瘤手術時における多角的な脊髄保護療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
胸腹部大動脈瘤手術の際の重篤な合併症である脊髄梗塞による対麻痺を予防するために、術前の脊髄灌流動脈の同定、脳脊髄液ドレナージ、硬膜外腔冷却、選択的肋間動脈灌流など多角的治療を行う。			
医療技術名	感染性心臓大血管疾患に対する凍結保存ホモグラフトを用いた外科治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
通常的人工血管人工弁を使用する従来の方法では、根治困難な感染性心臓大血管疾患(感染性心内膜炎、感染性大動脈瘤、人工弁感染、人工血管感染など)に対し、凍結保存ホモグラフト(同種組織移植)を用いて置換を行う。			
医療技術名	成人先天性心疾患に対する集学的治療	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要			
成人期に達した先天性心疾患患者の治療を小児循環器科医、成人循環器内科医、心臓血管外科医、さらには放射線科医、産婦人科医と協働で治療にあたり、先天性心疾患患者の長期予後の改善とQOLの改善を図る。			
医療技術名	摂食嚥下発音リハビリテーション	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
口腔・咽頭部を外科的に治療および放射線療法した場合、組織欠損や瘢痕形成、疼痛、乾燥、味覚障害等により、摂食・嚥下・発音障害が生じる。これら術後患者に対する歯科補綴的アプローチ、すなわち口腔内に歯科補綴装置(PAP,PLP,顎義歯)を用いた摂食・嚥下・発音リハビリテーションをおこなっている。			
医療技術名	骨延長術(歯槽骨延長)	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
インプラント埋入を前提とした高度の歯槽骨萎縮症例に対し、歯槽骨骨切り延長装置を埋入し、顎堤形成を行う術式。			
医療技術名	成人症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	500人
当該医療技術の概要			
従来の矯正歯科治療と比較し、インプラントアンカーを歯の移動の固定源として用いることにより、患者様の協力を必要とせず、歯の移動を効率的かつ効果的に行うことが可能となる。それにより、患者様の負担軽減、治療期間の短縮を図ることができる。さらに、短時間でより多くの歯の移動は可能となる為、外科的手術を避けることも可能となる。			



### 3 その他の高度の医療

医療技術名	成長期症例におけるインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療法	取扱患者数	30人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>骨格的な改善が必要な成長期症例(例:下顎前突)において、従来の矯正歯科治療では複雑な装置が必要であり、夜間のみの使用となり、患者様の協力が得られにくく、効果的な骨格の改善を得ることが少なかった。しかし、インプラントアンカーを用いることにより、患者様の協力が得られやすく、24時間用いることができ、それにより将来外科的手術を回避できることが可能となる。</p>			
医療技術名	リンガルブラケット装置を用いた矯正歯科治療	取扱患者数	40人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>日本人の多くは審美的な原因により、矯正歯科治療を避ける傾向がある。しかし、舌側(裏側)に矯正装置(ブラケット)を装着することにより、矯正装置が全く見えず治療を行うことができる。現在では違和感も少なく、インプラントアンカーを併用することにより、従来の唇側に装着される装置と比較しても治療結果がほとんど差がなく治療を行えるようになった。</p>			
医療技術名	全身麻酔下歯科治療	取扱患者数	4人
<p>当該医療技術の概要</p> <p>歯科治療恐怖症、嘔吐反射が著しい患者等、通常の方法では歯科治療を受容できない患者に対し、全身麻酔下での歯科治療を行うものである。</p>			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	99人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	222人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	134人	・原発性胆汁性肝硬変	100人
・全身性エリテマトーデス	395人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	72人
・再生不良性貧血	46人	・混合性結合組織病	48人
・サルコイドーシス	242人	・原発性免疫不全症候群	26人
・筋萎縮性側索硬化症	43人	・特発性間質性肺炎	70人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	212人	・網膜色素変性症	58人
・特発性血小板減少性紫斑病	101人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	47人	・肺動脈性肺高血圧症	64人
・( )瘍性大腸炎	373人	・神経線維腫症	32人
・大動脈炎症候群	82人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	29人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	23人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	29人
・脊髄小脳変性症	129人	・ライゾーム病	8人
・クローン病	331人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	18人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	234人	・球脊髄性筋萎縮症	9人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	41人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	43人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ管筋腫症(LAM)	15人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	128人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	48人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	136人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
脳画像データベースに基づく計算解剖学的手法による年代・性別正常脳構造モデルの作成	福田 寛	加齢核医学	3,510	補 委 文部科学省
親の社会経済的背景が児の発育に及ぼす影響	黒川 修行	環境保健医学分野	1,100	補 委 文部科学省
霊鳥類前頭前野におけるマルチシステムとしての情報処理機構	嶋 啓節	生体システム生理学分野	4,600	補 委 文部科学省
神経細胞分化制御と層特異的投射の分子機構	大隅 典子	発生発達神経科学分野	34,300	補 委 文部科学省
臓器間神経ネットワークによる糖・エネルギー代謝調節の分子機構	片桐 秀樹	代謝疾患学分野	18,700	補 委 文部科学省
脳腸相関の病態生理における脳腸ペプチドの役割	福土 審	行動医学分野	19,300	補 委 文部科学省
プリオン蛋白異常化分子機構の解明	北本 哲之	病態神経学分野	16,300	補 委 文部科学省
オブジェクト操作と動作のカテゴリ化の脳内表現	虫明 元	生体システム生理学分野	4,500	補 委 文部科学省
環境調整を加味したロービジョンケアプログラムの有効性	鈴嶋 よしみ	肢体不自由リハビリテーション科	1,900	補 委 文部科学省
一酸化窒素合成酵素系(NOSs)の生物学的多様性に関する基礎的・臨床的研究	下川 宏明	循環器内科	5,400	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
ヒト肺上皮前駆細胞を用いた難治性肺疾患の病態解明	久保 裕司	呼吸器内科	4,000	補委 文部科学省
肺の間質・気道の線維化および発癌・進展に関する循環線維細胞の分子病態とその制御	海老名 雅仁	呼吸器内科	5,900	補委 文部科学省
プリオン病の発病抑制に関わる宿主の新規防御機構の実証と新規治療標的因子群の発見	堂浦 克美	神経化学分野	5,100	補委 文部科学省
精神病発症リスク群と初回精神病の予後予測法の確立:リスクと予後の多次元評価モデル	松本 和紀	精神科	5,900	補委 文部科学省
ユビキチンリカーゼFbw7によるタンパク質分解制御からの胆道癌発癌機序解明	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座	6,300	補委 文部科学省
膵・胆道癌に対する特異的癌ワクチン療法の確立	江川 新一	肝・胆・膵外科	3,900	補委 文部科学省
網羅的薬剤トランスポーター絶対定量による胆道癌の抗癌剤感受性・耐性予測	海野 倫明	肝・胆・膵外科	5,700	補委 文部科学省
水プラズマによる生体に優しい低温滅菌法の開発と実用化	玉澤 かほる	歯周病科	3,000	補委 文部科学省
ヒドロキシルラジカルを人工的に生成する新しいラジカル殺菌技術の口腔内領域への応用	佐々木 啓一	口咬合回復科	4,500	補委 文部科学省
口腔癌診断のための病巣集積型ナノバブルと高周波超音波を用いた画像診断法の開発	森 士朗	顎顔面外科	6,000	補委 文部科学省
口腔バイオフィルム・唾液のメタボローム解析で拓く「口腔疾患リスク指標」	高橋 信博	口腔生化学分野	5,800	補委 文部科学省
地域高齢者の健康格差と医療費・口腔保健・血液データの cohorts 研究	小坂 健	国際歯科保健学 分野	6,800	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
行動戦略の統合的制御における前頭前野内側部の新領域の役割	松坂 義哉	生体システム生理学分野	2,200	補委 文部科学省
栄養カテーテルの安全な挿入を実現する光ガイドシステムの開発	宗形 光敏	小児科	1,200	補委 文部科学省
ニューロン分化におけるシグナル統合因子としてのSbno1	勝山 裕	発生発達神経科学分野	1,800	補委 文部科学省
がん化療法処方設計支援システムの構築	島田 美樹	薬剤部	1,000	補委 文部科学省
腎尿細管液の酸性化とアルブミン尿による腎障害機序の解明と新規腎臓病治療戦略の開発	阿部 倫明	腎・高血圧・内分泌科	900	補委 文部科学省
GPCRシグナル複合体細胞内輸送の時空間的制御に関する検討	柳澤 輝行	分子薬理学分野	1,400	補委 文部科学省
腎尿細管細胞におけるGATA転写因子を介した生体恒常性維持機構の解明	森口 尚	医化学分野	1,100	補委 文部科学省
非浸潤性乳癌における性ホルモン作用の解明:内分泌療法の更なる向上をめざして	鈴木 貴	病理検査学分野	1,200	補委 文部科学省
国内外のIgA腎症病理組織分類の検証に関する臨床病理学的後ろ向き研究	城 謙輔	病理診断学分野	1,500	補委 文部科学省
医学教育アウトカム評価法としてのカルテピアレビューシステムの開発	亀岡 淳一	医学教育推進センター	1,100	補委 文部科学省
医師の診療アルゴリズムを明確にした医療情報の抽出およびデータベース化	中山 雅晴	メディカルITセンター	1,200	補委 文部科学省
慢性心不全患者における悪性新生物の発生・進展に関するコホート研究	柴 信行	循環器EBM開発学寄附講座	1,200	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
小唾液腺をターゲットとした高齢者口腔乾燥症の治療戦略構築	佐藤 しづ子	口腔診断科	1,300	補 委 文部科学省
質量分析によるmicroRNAの網羅的検索とその法医学的応用	橋谷田 真樹	法医学分野	1,600	補 委 文部科学省
脳機能画像を用いた内臓感覚の記憶と認知変容過程の研究	鹿野 理子	行動医学分野	1,200	補 委 文部科学省
TNF-SF15は腸管上皮細胞にオートファジーを誘導する	高橋 成一	消化器内科	1,500	補 委 文部科学省
培養HCVを用いた肝免疫環境の構築と新規免疫治療の検証	椎名 正明	成人看護学分野	1,300	補 委 文部科学省
拡張不全型心不全の実態解明と効果的治療戦略の確立	高橋 潤	循環器内科	1,000	補 委 文部科学省
エリスロポエチン受容体およびHIFを標的とする新しい心不全治療戦略の開発	加賀谷 豊	卒後研修センター	1,400	補 委 文部科学省
濾胞樹状細胞からのプリオン神経侵入経路の解明	小林 篤史	病態神経学分野	2,000	補 委 文部科学省
アルドステロン合成酵素CYP11B2発現抑制に基づく新規降圧療法の開発	菅原 明	先端再生生命科学 (江東微生物研究所) 寄附講座	1,500	補 委 文部科学省
呼吸器感染症病原菌の表皮細胞内侵入と抗菌薬からのエスケープ機構	平潟 洋一	臨床微生物解析治療学寄附講座	1,200	補 委 文部科学省
先天性髄鞘化障害のCGHアレイを用いた網羅的解析	植松 貢	小児科	1,300	補 委 文部科学省
細胞治療のための臍帯血由来間葉系幹細胞バンク化を目指した基礎的研究	峯岸 正好	輸血部	1,300	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
回転収縮運動を考慮した心機能評価法の開発に関する研究	齋藤 春夫	画像解析学分野	1,900	補 委	文部科学省
ナノスケール蛍光粒子を用いた新規センチネルリンパ節生検法の開発	亀井 尚	移植・再建・内視鏡外科	2,200	補 委	文部科学省
急性期の障害肝細胞における肝細胞死・再生の指標となる血漿メチオニン値に関する研究	佐藤 和重	移植・再建・内視鏡外科	1,300	補 委	文部科学省
乳がん化学療法における一酸化窒素供与剤併用の上乗せ効果の研究	甘利 正和	乳腺・内分泌科	1,300	補 委	文部科学省
トリプルネガティブ乳癌の生物学的特性解明と治療戦略の構築	石田 孝宣	乳腺・内分泌外科	1,500	補 委	文部科学省
潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎の発症経過と機序の解明—回腸囊炎は術後再発か？	小川 仁	胃腸外科	1,300	補 委	文部科学省
IAPファミリーを標的とした新規大腸癌治療法の開発	木内 誠	胃腸外科	1,100	補 委	文部科学省
大量肝切除限界超越のための自家骨髄細胞移植による肝再生療法の研究と開発	力山 敏樹	肝・胆・膵外科	1,500	補 委	文部科学省
耐性機序を克服する新規抗癌剤ニュージェムシタビンの開発	砂村 眞琴	分子病理学分野	1,400	補 委	文部科学省
ナノバブルを用いた膵癌肝転移に対する分子デリバリー療法	赤田 昌紀	肝・胆・膵外科	2,200	補 委	文部科学省
ラパマイシンフィルムの冠動脈バイパス手術への臨床応用に関する研究	小田 克彦	心臓血管外科	2,100	補 委	文部科学省
有限要素解析を用いた胸部大動脈瘤破断予測:ステントグラフト術後遠隔期予後への応用	熊谷 紀一郎	大動脈疾患治療開発学寄附講座	2,200	補 委	文部科学省



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
形状記憶合金を用いた人工心筋の研究	秋山 正年	心臓血管外科	1,700	補 委 文部科学省
吸入麻酔薬と静脈麻酔薬による免疫細胞アポトーシス誘導機序の解明及びその相違の解析	黒澤 伸	麻酔科	2,300	補 委 文部科学省
両側性アルドステロン産性(微小)腺腫に対する外科資料体系の確立	石戸谷 滋人	泌尿器科	1,700	補 委 文部科学省
妊娠高血圧症候群における新規血管新生制御因子バソヒピンの動態と胎盤機能評価	千坂 泰	産科	1,300	補 委 文部科学省
聴覚遠心性経路を利用し、感音難聴の周波数選択性の改善を目指す基礎研究	日高 浩史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600	補 委 文部科学省
緑内障の感受性遺伝子同定と罹患性診断、薬剤応答予測への応用	布施 昇男	眼科	1,200	補 委 文部科学省
舌運動の器用さの神経機構:覚醒動物の脳体性感覚皮質における多細胞活動の同時記録	戸田 孝史	口腔生理学分野	1,900	補 委 文部科学省
著明な骨形成促進作用を持つ新規ビスホスホネートの歯周疾患治療医学への応用	篠田 壽	口腔生理学分野	1,400	補 委 文部科学省
緑茶カテキンによるシェーグレン症候群の新たな治療法の開発についての検討	齋藤 恵一	予防歯科	2,000	補 委 文部科学省
歯根修復における新しいバイオハイブリッド型材料の開発	小林 洋子 (岩松洋子)	保存修復科	1,200	補 委 文部科学省
ボンディング材の重合特性改善によるコンポジットレジン接着耐久性の向上	遠藤 達雄	保存修復科	1,000	補 委 文部科学省
根管内細菌のプロファイリングに基づく根尖性歯周炎の客観的診断と治療法の確立	八巻 恵子	歯内・歯周療法科	2,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
局所作用型ホルモンCNPによる新しい顎堤吸収抑制法の基礎的検討	岡山 啓昌	口腔器官構造学分野	2,200	補 委	文部科学省
ノンクラスプデンチャー装着時の支台歯荷重, 義歯床下荷重に関する生体力学的検討	依田 信裕	保存修復科	1,700	補 委	文部科学省
青色可視光励起型低濃度過酸化水素ラジカル殺菌技術を応用した次世代義歯洗浄器開発	菅野 太郎	咬合修復科	800	補 委	文部科学省
ナノバブルを用いたIGF-I長期発現プラスミドによる新たな顎骨再生治療法の開発	飯久保 正弘	口腔診断科	1,300	補 委	文部科学省
矯正歯の移動時の歯根膜におけるTen-m/Odz3遺伝子の機能解析	酒井 雄一	矯正歯科	1,600	補 委	文部科学省
歯周組織のリモデリングを制御する細胞バイオメカニクスシグナリング機構の解析	千葉 美麗	口腔生理学分野	2,200	補 委	文部科学省
胃瘻栄養者の下痢や誤嚥性肺炎予防に食感覚を応用するための基礎的検討	服部 佳功	高齢者歯科治療部	700	補 委	文部科学省
マルチレベル分析を用いた、高齢者の口腔と全身の健康格差に関する社会疫学研究	相田 潤	国際歯科保健学分野	3,300	補 委	文部科学省
地方における看護教育制度成立過程の研究	小山田 信子	周産期看護学分野	1,000	補 委	文部科学省
乳がん体験者の術後上肢機能障害予防改善に向けた長期介入の効果	佐藤 富美子	がん看護学分野	1,200	補 委	文部科学省
IVR患者放射線被曝測定用リアルタイム線量計の開発	洞口 正之	放射線治療科	1,200	補 委	文部科学省
リアルタイム式体内設置型放射線照射量測定システムの開発	細貝 良行	画像解析学分野	3,100	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
末梢動脈疾患(PAD)への包括的リハビリテーションの有効性の確立	上月 正博	内部障害リハビリテーション科	1,500	補委 文部科学省
加齢に伴う過活動膀胱の発生メカニズムの解明と新治療法に関する研究	中川 晴夫	泌尿器科	1,500	補委 文部科学省
うつ病に対するオンライン認知行動療法プログラムの開発	原田 伸彦	精神科	1,800	補委 文部科学省
In vivoタンパク質複合体形成モニタリングの試み	中山 啓子	細胞増殖制御分野	1,600	補委 文部科学省
胆汁酸メタボローム解析システムの構築	眞野 成康	薬剤部	1,400	補委 文部科学省
転写因子Nrf1の神経細胞恒常性維持の解明	山本 雅之	医化学分野	2,900	補委 文部科学省
ピロリ除菌による胃癌予防の費用対効果と新たな胃癌検診の制度設計に関する医療経済	濃沼 信夫	医療管理学分野	1,200	補委 文部科学省
パーソナリティ・人生観の健康影響に関する心理疫学研究	辻 一郎	公衆衛生学分野	1,200	補委 文部科学省
新型インフルエンザA(H1N1)のトランスミッションダイナミクスから見た疫学像	押谷 仁	微生物学分野	2,900	補委 文部科学省
興奮性譫妄による急死の全国調査と病態解明に関する研究	舟山 真人	法医学分野	1,500	補委 文部科学省
アミン-カルボニル反応性の新たな腎臓病のメカニズムの解明	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌科	1,800	補委 文部科学省
マルチオミクス統合解析アプローチに基づく分子標的強化門脈塞栓術と肝肥大効率化	小野川 徹	肝・胆・膵外科	1,800	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
蛍光ナビゲーション内視鏡による 消化器癌手術システムの開発	武田 元博	乳腺・内分泌外科	1,800	補 委 文部科学省
幹細胞冬眠誘導を用いた転移性 肝癌に対する治療法の開発	片寄 友	統合癌治療外科学 寄附講座	1,800	補 委 文部科学省
レックリングハウゼン病に対するナ ノバブルを用いた遺伝子導入によ る治療法の開発	館 正弘	形成外科	1,300	補 委 文部科学省
多光子励起顕微鏡によるin vivo 観察法を用いた硬組織細胞間の ネットワーク解析	若森 実	歯科薬理学分野	1,000	補 委 文部科学省
麻薬プロドラッグを用いた新たな 疼痛管理法への挑戦	正木 英二	麻酔疼痛管理科	1,800	補 委 文部科学省
FGFR2関連頭蓋骨縫合早期癒 合症の疾患モデルの開発と内科 的治療に向けての検討	森 士朗	顎顔面外科	1,500	補 委 文部科学省
iPS細胞を用いた歯の再生に向 けた基盤技術の開発	山本 照子	矯正歯科	1,800	補 委 文部科学省
歯再生へ向けた低分子化合物を 用いた歯髄幹細胞の樹立	岩本 勉	小児歯科	1,500	補 委 文部科学省
唾液由来鎮痛物質による新たな 顎顔面領域の慢性痛制御理論の 確立	庄司 憲明	口腔診断科	900	補 委 文部科学省
熟練助産師の分娩介助時の動作 (手動作含む)・視線の解析	吉沢 豊予子	ウィメンズヘルス看 護学分野	2,200	補 委 文部科学省
訪問看護におけるケアとケアの 統合に関する研究	川原 礼子	老年保健看護学分 野	800	補 委 文部科学省
長期療養施設における安全管理 とケアサービスの質評価に関する 実証研究	金子 さゆり	医療管理学分野	4,600	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
高過剰圧波による高次脳機能損傷:ブレンマシンインターフェースによる機能回復	中川 敦寛	脳神経内科	6,700	補委 文部科学省
緑内障における総合的神経保護治療の開発	中澤 徹	視覚先端医療学寄附講座	7,800	補委 文部科学省
象牙芽細胞分化における細胞間結合の役割解明とその制御法の開発	岩本 勉	小児歯科	9,700	補委 文部科学省
高速無線アドホックネットワークにおけるチャンネル制御手法に関する研究	中村 直毅	情報基盤室	1,500	補委 文部科学省
エピソード記憶の「再活性化の仮説」に関する検討	上野 彩	高次機能障害リハビリテーション科	1,300	補委 文部科学省
運動イメージ能力への介入による脳卒中片麻痺患者の運動機能回復	西嶋 一智	肢体不自由リハ科	1,900	補委 文部科学省
失語症に対する経頭蓋磁気刺激と経頭蓋直流電気刺激の解明	森 隆行	肢体不自由リハ科	1,800	補委 文部科学省
前頭葉性失書に対する発現機序に基づく訓練法の開発およびその効果評価	遠藤 佳子	リハビリテーション部門	700	補委 文部科学省
肩腱板断裂患者の症状の有無と肩間接運動様式の関連について	村木 孝行	リハビリテーション部門	2,900	補委 文部科学省
がん微小環境制御転写因子Bach1の機能解明とがん幹細胞移植モデルマウスへの応用	松本 光代	婦人科	1,100	補委 文部科学省
Keap1-Nrf2を介した酸化ストレスシグナルの幹細胞における役割	守田 匡伸	医化学分野	1,900	補委 文部科学省
生体内超微細構造可視化技術を用いた抗体医薬品の革新的創薬法の開発	権田 幸祐	ナノ医科学寄附講座	1,600	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
大腸がんの治療効果・予後予測システムの開発	高橋 信	腫瘍内科	1,500	補委 文部科学省
ノッチングナルを標的とした悪性中皮腫に対する分子標的治療	矢満田 慎介	老年科	1,560	補委 文部科学省
這行様ロコモーションに内在する位相・筋緊張が連関した自律分散制御則の解明	加納 剛史	グローバルCOE(大隅)	1,200	補委 文部科学省
脳パターン化におけるシグナリングセンターの形成維持メカニズムの解明	高橋 将文	発生発達神経科学分野	1,700	補委 文部科学省
生体内一粒子DDSイメージングと新生血管透過性制御による乳癌薬物治療の最適化	河合 賢朗	東北がんプロフェッショナル養成プラン	1,600	補委 文部科学省
生体防御システムの破綻と病態	田口 恵子	医化学分野	1,900	補委 文部科学省
尿毒症物質排泄機構増強による腎不全治療	鈴木 健弘	腎・高血圧・内分泌科	2,300	補委 文部科学省
細胞分化調節による脊髄損傷治療法開発の試みーグリア新生を神経新生へ	北田 容章	細胞組織学分野	1,400	補委 文部科学省
膵臓外分泌細胞における、maxiKチャネルタンパク質の特異的な小胞輸送機構の研究	村田 喜理	細胞生理学分野	1,600	補委 文部科学省
含セレン蛋白質合成破綻による神経変性疾患モデルマウスの創出	鈴木 隆史	医化学分野	1,500	補委 文部科学省
大腸菌人工染色体トランスジェニックマウスを用いたGATA2遺伝子制御解析	鈴木 未来子	医化学分野	1,800	補委 文部科学省
肺線維化機構における性ステロイドホルモンの関与	三木 康宏	口腔病理学分野	1,800	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
血管新生の抑制を標的とした、免疫細胞活性化分子を介する動脈硬化新規治療法の開発	中野 誠	循環器内科	1,000	補委 文部科学省
不整脈予防と心収縮力の著名な改善を同時に実現した、筋芽細胞移植法の開発	熊谷 啓之	病理形態学分野	1,400	補委 文部科学省
ケモカインを分子標的とした炎症性骨間接疾患の新規治療法開発に向けた基礎研究	乾 匡範	病理形態学分野	1,900	補委 文部科学省
乳癌幹細胞サブタイプによる乳癌個別化と新規マーカー探索	伊藤 貴子	病態検査学分野	900	補委 文部科学省
受動喫煙の脳心血管リスク:前向きコホート研究による縦断的検討	井上 隆輔	メディカルITセンター	1,300	補委 文部科学省
新規開発した円皮鍼を用いた誤嚥性肺炎の予防効果に関する研究	菊地 章子	婦人科	1,100	補委 文部科学省
過敏性腸症候群のストレス反応とその治療	森下 城	行動医学分野	2,700	補委 文部科学省
高齢者の無症候性脳所見が日常生活機能障害に及ぼす影響の縦断的評価	富田 尚希	老年科	1,700	補委 文部科学省
食道扁平上皮癌に対するターゲットとしての脂質過酸化によるEGFR制御機構の検討	宇野 要	消化器内科	1,700	補委 文部科学省
膵癌幹細胞抑制性microRNAの同定と治療応用	濱田 晋	消化器内科	1,600	補委 文部科学省
B型肝炎ウイルスの遺伝子型および変異が病態へ与える影響についての包括的解析	井上 淳	消化器内科	1,300	補委 文部科学省
クローン病感受性遺伝子IL12Bが感受性を亢進させる分子メカニズムの解明	遠藤 克哉	消化器内科	1,300	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
新たな膵性糖尿病治療法の開発に向けた膵線維化に伴う膵島障害機序の解析	菊田 和宏	消化器内科	1,700	補 委 文部科学省
血管内皮細胞の全身代謝や寿命に及ぼす役割	長谷川 豊	糖尿病代謝科	1,700	補 委 文部科学省
急性肺損傷における新規生理活性脂質リノホスファチジン酸の役割解明	山田 充啓	感染症診療地域連携寄附講座	1,900	補 委 文部科学省
循環腫瘍細胞におけるEGFR耐性遺伝子変異同定に基づく肺癌個別化治療の開発	井上 彰	呼吸器内科	900	補 委 文部科学省
FUS変異を持つ筋萎縮性側索硬化症の大家系における剖検病理を基盤とした病態解析	鈴木 直輝	神経内科	1,600	補 委 文部科学省
脳血管性認知症の病態における脂肪酸シグナルの役割	吉崎 喜一	発生発達神経科学分野	1,500	補 委 文部科学省
正常人、SLE患者T細胞のオートファジー機能とそのアポトーシスに対する役割の解析	藤井 博司	血液・免疫科	1,000	補 委 文部科学省
偽性低アルドステロン血症Ⅱ型の原因遺伝子同定・機能解析と高血圧発症機序の解明	鎌田 文顕	小児科	2,000	補 委 文部科学省
ヒソジ胎子を用いた人口胎盤に応用できる膜型肺回路の開発	渡邊 真平	小児科	1,600	補 委 文部科学省
皮膚角化細胞におけるアクアポリン3発現の制御	大谷 朋之	皮膚科	1,400	補 委 文部科学省
表皮細胞におけるWnt標的遺伝子Id2の機能解析	目々澤 愛	皮膚科	1,700	補 委 文部科学省
幻視の神経解剖学的、神経薬理学的基盤に関する研究	西尾 慶之	高次機能障害科	1,300	補 委 文部科学省



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
認知症の脳機能画像解析における縦断的評価の最適化および標準化に関する研究	金田 朋洋	放射線診断科	1,600	補 委 文部科学省
心停止肝移植向上の為のCO含有パッファーpost conditioning	小林 仁存	移植・再建・内視鏡外科	2,200	補 委 文部科学省
胸腔内からの脊髄冷却法の開発	高橋 悟朗	心臓血管外科	1,800	補 委 文部科学省
ヒアルロン酸の代謝動態とCD44の相互作用が肺癌の生物学的悪性度を規定する	前田 寿美子	呼吸器内科	1,100	補 委 文部科学省
CEDを用いた新しいてんかん治療システムの開発	岩崎 真樹	脳神経外科	2,700	補 委 文部科学省
敗血症に関連する尿濃縮の破綻機序解明とナトリウムを主体とした体液量維持療法の検討	外山 裕章	麻酔科	1,000	補 委 文部科学省
精巣腫瘍における新しいバイオマーカーの確立	山田 成幸	泌尿器科	2,100	補 委 文部科学省
マイクロRNAを用いた子宮体部漿液性腺癌の新しい治療法の基礎的検討	鈴木 史彦	婦人科	800	補 委 文部科学省
精子形成過程におけるゲノムインプリント異常の発生機構に関する検討	林 千賀	東北がんプロフェッショナル養成プラン	1,300	補 委 文部科学省
鼻腔におけるVASOHIBIN1の発現、機能についての解析	鈴木 貴博	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500	補 委 文部科学省
内耳の形態形成・機能におけるヘパラン硫酸の役割の解明	野口 直哉	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,700	補 委 文部科学省
新しい術前視機能温存・網膜保護システム(黄斑剥離を伴う網膜剥離眼)の構築	國方 彦志	眼科	1,600	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
骨メカノセンサーネットワークによる機械刺激受容シグナル伝達機構の解明	吉田 卓史	歯科薬理学分野	2,200	補 委 文部科学省
シェーグレン症候群のT細胞系免疫異常におけるIL-18およびTh17の役割	酒井 梓	口腔診断科	1,100	補 委 文部科学省
シェーグレン症候群におけるIL-18の病因論的役割解析を目指したマウスモデル確立	佐藤 恭子	口腔診断科	1,200	補 委 文部科学省
マクロファージ賦活化による慢性筋痛新規治療法の開発	土谷 昌広	高齢者歯科治療部	1,200	補 委 文部科学省
リン酸カルシウム-アルギン酸-硫酸カルシウム複合化による新規骨再生材料の創製	富士 岳志	咬合回復科	1,600	補 委 文部科学省
顔面三次元計測に基づく義歯床形態が顔面の整容に及ぼす影響に関する検討	埴 総司	咬合回復科	1,800	補 委 文部科学省
力学親和性を有する新規チタン合金とリン酸カルシウム成膜法の生体内評価	鈴木 祐子	咬合回復科	2,100	補 委 文部科学省
超弾性チタン合金へのECRプラズマ酸化による生体力学親和性インプラントの開発	折居 雄介	咬合回復科	1,900	補 委 文部科学省
コラーゲン架橋構造の定量化を指標にしたインプラント周囲骨骨質評価	伊奈 慶典	咬合回復科	1,700	補 委 文部科学省
ジルコニアオールセラミック修復用ベニヤポーセレンの強度に関する研究	三浦 賞子	咬合修復科	1,100	補 委 文部科学省
触覚センサによる義歯床下圧測定とNaF-PETを用いた床下骨代謝動態に関する研究	末永 華子	咬合修復科	1,800	補 委 文部科学省
間葉系幹細胞と $\alpha$ リン酸三カルシウムを用いたイヌ顎裂骨再生部への矯正学的歯の移動	徳川 宜靖	顎口腔機能治療部	2,300	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元	
バイオフィーム形成抑制能を有するインプラント用チタン合金の開発	高橋 正敏	歯科生体材料学分野	2,300	補 委	文部科学省
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	宮下 光令	緩和ケア看護学分野	3,000	補 委	厚生労働省
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	濃沼 信夫	医療管理学分野	11,802	補 委	厚生労働省
がん対策に資するがん患者の療養生活の質の評価方法の確立に関する研究	宮下 光令	緩和ケア看護学分野	19,520	補 委	厚生労働省
バイオマーカーに基づいた肺癌個別化治療における分子標的治療薬の至適治療法を検証するランダム化第Ⅲ相比較試験	井上 彰	呼吸器内科	20,000	補 委	厚生労働省
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	有馬 隆博	情報遺伝学分野	2,000	補 委	厚生労働省
重症新生児のアウトカム改善に関する多施設共同研究	太田 英伸	産科	3,000	補 委	厚生労働省
口腔保健とQOLの向上に関する総合的研究	小坂健	国際歯科保健学分野	10,000	補 委	厚生労働省
各種禁煙対策の経済影響に関する研究ー医療費分析と費用効果分析ー	辻 一郎	公衆衛生学分野	6,300	補 委	厚生労働省
中核都市型医療圏における急性心筋梗塞診療救急体制の実態調査:宮城心筋梗塞対策協議会ネットワークの活用	安田 聡	循環器内科	18,370	補 委	厚生労働省
縁取り空砲を伴う遠位型ミオパチーの治療効果	青木 正志	神経内科	2,000	補 委	厚生労働省
真菌感染症の病態解明に基づく検査・治療法の確立と国内診断・治療ネットワークの構築に関する研究	川上 和義	検査部	2,200	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
高病原性鳥インフルエンザの診断・治療に関する国際連携研究	川上 和義	検査部	2,000	補委 厚生労働省
心血管疾患患者の介護予防方策を明らかにするための大規模コホート研究	柴 信行	循環器EBM開発学 寄附講座	10,500	補委 厚生労働省
保健活動の質の評価指標開発	平野 かよ子	国際看護管理学分野	3,300	補委 厚生労働省
大動脈瘤治療薬開発を目指した基礎的・臨床的基盤研究	佐藤 公雄	循環器内科	12,350	補委 厚生労働省
高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケアの指針の策定に関する研究	小関 健由	予防歯科	2,000	補委 厚生労働省
ゲノム解析による原発性アルドステロン症の原因診断学の再構築	笹野 公伸	病理診断学分野	5,000	補委 厚生労働省
プリオン病予防の実用化に関する研究	堂浦 克美	神経化学分野	34,000	補委 厚生労働省
遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究	松原 洋一	遺伝科	4,000	補委 厚生労働省
分子診断に基づくヌーナン症候群の判断基準の作成と新規病因遺伝子の探索	青木 洋子	遺伝科	19,500	補委 厚生労働省
遺伝性鉄芽球性貧血の診断分類と治療法の確立	張替 秀郎	血液・免疫科	10,550	補委 厚生労働省
高グリシン血症の実態把握と治療法開発に関する研究	呉 繁夫	小児科	18,500	補委 厚生労働省
腎性尿崩症の実態把握と診断・治療指針作成	根東 義明	医学情報学分野	2,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
Wolfram症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究	岡 芳知	糖尿病代謝科	2,000	補 委 厚生労働省
封入体筋炎(IBM)の臨床病理学的調査および診断基準の精度向上に関する研究	青木 正志	神経内科	15,000	補 委 厚生労働省
コステロ症候群・CFC症候群類縁疾患の診断基準作成と治療法開発に関する研究	松原 洋一	遺伝科	19,500	補 委 厚生労働省
ソトス症候群のスクリーニング・診断システムの開発と実用化	富田 博秋	精神・神経生物学分野	5,000	補 委 厚生労働省
ゲノムインプリンティング異常症5疾患の実態把握に関する全国多施設共同研究	有馬 隆博	情報遺伝学分野	19,500	補 委 厚生労働省
孔脳症の遺伝的要因の解明	萩野谷 和裕	小児科	2,000	補 委 厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	北本 哲之	病態神経学分野	4,000	補 委 厚生労働省
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証ープラセボ対象無作為化臨床第2相比較試験ー	荒井 啓行	老年科	18,005	補 委 厚生労働省
培養細胞を用いた有害性評価手法の開発	相場 節也	皮膚科	41,860	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発／細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	林 竜平	眼科	8,125	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
21委-1総合失調症の診断、治療法の開発に関する研究	松岡 洋夫	精神科	2,300	補 委 国立精神・神経センター
脳神経外科学分野に関する学術動向の調査研究	富永 悌二	脳神経外科	2,600	補 委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
20指-2先天代謝異常症の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	松原 洋一	遺伝科	7,000	補 委 国立成育医療センター
20公-2成長・成熟障害の遺伝子医療全国ネットワークシステムの構築	松原 洋一	遺伝科	2,000	補 委 国立成育医療センター
脳移植動物における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	上月 正博	内部障害リハ科	5,220	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成ー未来医工学治療発センター	里見 進	TRセンター	153,846	補 委 文部科学省研究振興局
研究用臍帯血幹細胞バンク整備(宮城さい帯血バンクと連携した移植適応外臍帯血の収集及び細胞分離調製・保存等)	土屋 滋	輸血部	6,500	補 委 文部科学省研究振興局
リード化合物Ex3の最適化	片寄 友	肝・胆・膵外科	4,600	補 委 独立行政法人医薬基盤研究所
胎児心電図実用化促進のための橋渡し研究	木村 芳孝	TRセンター	56,847	補 委 文部科学省研究振興局
アカデミアのTR拠点が創出する脾島移植確立のための戦略的アプローチ①安全で高性能な細胞分離用酵素剤の臨床応用	後藤 昌史	TRセンター	67,864	補 委 文部科学省研究振興局
人工股関節用次世代チタン合金システムの開発		整形外科	4,199	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
WAP-8294A2の抗菌力に関する検討	賀来 満夫	検査部	5,250	補 委 アリジェン製薬株式会社
がん超早期診断・治療機器の総合研究開発/超早期高精度診断システムの研究開発:病理画像等認識技術の研究開発/病理画像等認識基礎技術の研究開発(1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断技術)	大内 憲明	乳腺・内分泌外科	26,500	補 委 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
特異的プローブによるタウおよびAβ蓄積メカニズムの解明	工藤 幸司	TRセンター	18,000	補 委 文部科学省研究振興局

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする予後因子に関する検討 免疫組織的検討	渡辺 みか	病理部	7,560	補 委 国家公務員共済組合連合会 東北公済病院

計 227

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hum Pathol	Down-regulation of the antigen processing machinery is linked to a loss of inflammatory response in colorectal cancer.	笠島 敦子	病理診断学分野
J Pathol	Systematic evaluation of the miRNA-ome and its downstream effects on mRNA expression identifies gastric cancer progression.	笠島 敦子	病理診断学分野
Jpn J Clin Oncol	The Correlation Between Ultrasonographic Findings and Pathologic Features in Breast Disorders.	石田 和之	病理診断学分野
Int J Gynecol Pathol	Validation of the histologic grading for ovarian clear cell adenocarcinoma: a retrospective multi-institutional study by the Japan Clear Cell Carcinoma Study Group.	笠島 敦子	病理診断学分野
移植	小腸移植後に生じた急性拒絶反応の病理組織学的検討	石田 和之	病理診断学分野
Endocrine Journal	Erythrocyte zinc concentration as an indicator to distinguish painless thyroiditis-associated transient hypothyroidism from permanent hypothyroidism	中川 吉則	腎・高血圧・内分泌学分野
Hypertens Res	Is renal antiaging possible?	伊藤 貞嘉	腎・高血圧・内分泌学分野
腎と透析	原発性アルドステロン症の診断と治療	森本 玲	腎・高血圧・内分泌学分野
Int J Hematol	Hereditary sideroblastic anemia: pathophysiology and gene mutations.	張替 秀郎	血液・免疫病学分野
INFECTION CONTROL	【CDC、WHO、英国epic、オランダWIP、日本の通達…各国基準・文献に基づく臨床ですぐ使える感染対策エビデンス集+現場活用術】 おさえておきたい基本のエビデンス インフルエンザ対策 新型インフルエンザを含む	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
INFECTION CONTROL	【CDC、WHO、英国epic、オランダWIP、日本の通達…各国基準・文献に基づく臨床ですぐ使える感染対策エビデンス集+現場活用術】 よくわかる日本と各国の方針 米国の方針 SHEA	北川 美穂	感染制御・検査診断学分野
感染症学雑誌	感染症診療・感染制御地域ネットワーク	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
感染症学雑誌	新型インフルエンザにおける感染症危機管理	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
日本化学療法学会雑誌	新型インフルエンザにおける感染症危機管理	賀来 満夫	感染制御・検査診断学分野
Magn Reson Med	An optimized 3D spoiled gradient recalled echo pulse sequence for hemorrhage assessment using inversion recovery and multiple echoes (3D SHINE) for carotid plaque imaging.	大田 英揮	量子診断学分野
Acad Radiol	Anatomical evaluation of the dural sinuses in the region of the torcular herophili using three dimensional CT venography.	高橋 昭喜	量子診断学分野
AJNR Am J Neuroradiol	MR carotid plaque imaging and contrast-enhanced MR angiography identifies lesions associated with recent ipsilateral thromboembolic symptoms: an in vivo study at 3T.	大田 英揮	量子診断学分野
Drugs R D	Safety of Gadoterate Meglumine (Gd-DOTA) as a Contrast Agent for Magnetic Resonance Imaging: Results of a Post-Marketing Surveillance Study in Japan.	高橋 昭喜	量子診断学分野
Stroke	Sex differences in patients with asymptomatic carotid atherosclerotic plaque: in vivo 3.0-T magnetic resonance study.	大田 英揮	量子診断学分野
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Dose-volume comparison of proton radiotherapy and stereotactic body radiotherapy for non-small-cell lung cancer.	角谷 倫之	放射線腫瘍学分野
Diabetes	Interleukin-6 enhances glucose-stimulated insulin secretion from pancreatic beta-cells: potential involvement of the PLC-IP3-dependent pathway.	今井 淳太	分子代謝病態学分野
Scand J Gastroenterol	Deficient aldehyde dehydrogenase 2 is associated with increased risk for esophageal squamous cell carcinoma in the presence of gastric hypochlorhydria.	飯島 克則	消化器病態学分野
Int J Cancer	Exogenous luminal nitric oxide exposure accelerates columnar transformation of rat esophagus.	飯島 克則	消化器病態学分野
Dig Dis Sci	Gastric hyposecretion in esophageal squamous-cell carcinomas.	飯島 克則	消化器病態学分野
J Infect Dis	Hepatitis B virus replication could enhance regulatory T cell activity by producing soluble heat shock protein 60 from hepatocytes.	上野 義之	消化器病態学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun	Inhibitory effect on hepatitis B virus in vitro by a peroxisome proliferator-activated receptor-gamma ligand, rosiglitazone.	上野 義之	消化器病態学分野
Curr Opin Gastroenterol	Murine models of autoimmune cholangitis.	上野 義之	消化器病態学分野
J Clin Invest.	NOD1 contributes to mouse host defense against Helicobacter pylori via induction of type I IFN and activation of the ISGF3 signaling pathway.	浅野 直喜	消化器病態学分野
Gastrointest Endosc	Optical coherence tomography for the staging of tumor infiltration in superficial esophageal squamous cell carcinoma.	小池 智幸	消化器病態学分野
J Hepatol	Possible involvement and the mechanisms of excess trans-fatty acid consumption in severe NAFLD in mice.	上野 義之	消化器病態学分野
J Am Coll Cardiol.	Authors' reply.	安田 聡	循環器内科学分野
Circ J	Identification of new prognostic factors of pulmonary hypertension	福本 義弘	循環器内科学分野
Circ J	Optical coherence tomography as a novel diagnostic tool for distal type chronic thromboembolic pulmonary hypertension	福本 義弘	循環器内科学分野
Eur Heart J	Potential usefulness of fish oil in the primary prevention of acute coronary syndrome.	安田 聡	循環器内科学分野
Circ J	Report from J-PULSE multicenter registry of patients with shock-resistant out-of-hospital cardiac arrest treated with nifekalant hydrochloride.	安田 聡	循環器内科学分野
J Cardiovasc Pharmacol.	The first clinical pilot study of intravenous adrenomedullin administration in patients with acute myocardial infarction	安田 聡	循環器内科学分野
Circ J.	Trends in acute myocardial infarction and mortality over 30 years in Japan: Report from the MIYAGI-AMI Registry Study.	安田 聡	循環器内科学分野
Circ J	Trends in Acute Myocardial Infarction Incidence and Mortality Over 30 Years in Japan:	高橋 潤	循環器内科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Tohoku J Exp Med.	Chagan-Yasutan H, Saitoh H, Ashino Y, Arikawa T, Hirashima M, Li S, Usuzawa M, Oguma S, O Telan EF, Obi CL, Hattori T.	芦野 有悟	感染症態学分野
BMC Complement Altern Med	Evaluation of the antibacterial and anticancer activities of some South African medicinal plants.	服部 俊夫	感染症態学分野
Antivir Chem Chemother	Procyanidin B1 purified from Cinnamomi cortex suppresses hepatitis C virus replication.	児玉 栄一	感染症態学分野
Int J Biochem Cell Biol	Rev-derived peptides inhibit HIV-1 replication by antagonism of Rev and a co-receptor, CXCR4.	児玉 栄一	感染症態学分野
J Biol Chem	Single-particle tracking confirms that multivalent Tat-protein transduction domain induced Heparan-sulfate Proteoglycan (HSPG) cross-linkage activates Rac1 for internalization.	鈴木 康弘	感染症態学分野
J Invest Dermatol	Kallikrein expression and cathelicidin processing are independently controlled in keratinocytes by calcium, vitamin D(3), and retinoic acid.	山崎 研志	皮膚科学分野
PLoS One	Staphylococcus epidermidis antimicrobial delta-toxin (phenol-soluble modulins-gamma) cooperates with host antimicrobial peptides to kill group A Streptococcus.	山崎 研志	皮膚科学分野
J Hum Genet	A genome-wide association study identifies RNF213 as the first Moyamoya disease gene.	青木 洋子	遺伝病学分野
Brain Dev	Cardio-facio-cutaneous syndrome with infantile spasms and delayed myelination.	松原 洋一	遺伝病学分野
J Hum Genet	Mutation analysis of the SHOC2 gene in Noonan-like syndrome and in hematologic malignancies.	青木 洋子	遺伝病学分野
Pflugers Arch	Calcium and calcimimetics regulate paracellular Na <sup>+</sup> transport in the thin ascending limb of Henle's loop in mouse kidney.	森本 哲司	小児病態学分野
Brain Dev	Molecular analysis of a presymptomatic case of carnitine palmitoyl transferase I (CPT I) deficiency detected by tandem mass spectrometry newborn screening in Japan.	坂本 修	小児病態学分野
小児外科	【あなたならどうする、こんな時 プロに訊く術中の機転】 感染歴のある肺嚢胞性疾患に対する胸腔鏡手術	仁尾 正記	小児外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児外科	【へそを使う手術・つくる手術】臍部Ω型小切開による新生児・乳児開腹術	仁尾 正記	小児外科学分野
宮城県医師会報	気をつけなければならない小児の外科的疾患	仁尾 正記	小児外科学分野
日本小児外科学会雑誌	腸管不全合併肝障害(intestinal failure-associated liver disease;IFALD)に対する包括的治療戦略	佐々木 英之	小児外科学分野
Radiology	Bronchial artery anatomy: preoperative 3D simulation with multidetector CT.	市川 宏文	先進外科学分野
Transplantation Proceedings	New strategy for ABO-incompatible living donor liver transplantation with anti-CD20 antibody (rituximab) and plasma exchange.	佐藤 和重	先進外科学分野
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	Nitroglycerin-mediated vasodilatation of the brachial artery may predict long-term cardiovascular events irrespective of the presence of atherosclerotic disease	赤松 大二朗	先進外科学分野
Tohoku J Exp Med.	Nucleoside analogue therapy following one-year course of hepatitis B immunoglobulin in preventing hepatitis B virus reactivation after living donor liver transplantation.	川岸 直樹	先進外科学分野
日本気管食道科学会報	食道癌Salvage Surgeryの適応と合併症対策	亀井 尚	先進外科学分野
Cancer Sci	Comparison of core needle biopsy (CNB) and surgical specimens for accurate preoperative evaluation of ER, PgR and HER2 status of breast cancer patients.	石田 孝宣	腫瘍外科学分野
Jpn J Clin Oncol	Total-circumference intraoperative frozen section analysis reduces margin-positive rate in breast-conservation surgery.	石田 孝宣	腫瘍外科学分野
脊椎脊髄ジャーナル	【脊椎・脊髄イメージング 標準的検査法から最新情報まで】疾患編 Common diseaseの画像解説 椎体椎間板の変性疾患:頸椎-頸部脊髄症、神経根症の画像診断のポイント	小澤 浩司	整形外科分野
脊椎脊髄ジャーナル	【脊椎・脊髄イメージング 標準的検査法から最新情報まで】疾患編 最近の知見、新たな疾患概念の画像所見 脊髄ヘルニア	小澤 浩司	整形外科分野
Acta Orthop	Alteration of the material properties of the normal supraspinatus tendon by nicotine treatment in a rat model.	佐野 博高	整形外科分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anat	Anatomical and functional segments of the deltoid muscle.	佐野 博高	整形外科科学分野
J Orthop Sci	C1/2 facet cyst revealed by facet joint arthrography.	小澤 浩司	整形外科科学分野
Spinal Cord	Clinical significance of intramedullary Gd-DTPA enhancement in cervical myelopathy.	小澤 浩司	整形外科科学分野
J Shoulder Elbow Surg	Development of a shoulder contracture model in rats.	佐野 博高	整形外科科学分野
J Orthop Sci	Effect of estrogen on tissue elasticity of the ligament proper in rabbit anterior cruciate ligament: measurements using scanning acoustic microscopy.	佐野 博高	整形外科科学分野
J Anat	Function of the shoulder muscles during arm elevation: an assessment using positron emission tomography.	佐野 博高	整形外科科学分野
Ups J Med Sci	Giant sacral schwannoma: a report of six cases.	小澤 浩司	整形外科科学分野
J Orthop Sci	Tendon patch grafting using the long head of the biceps for irreparable massive rotator cuff tears.	佐野 博高	整形外科科学分野
東日本整形災害外科学会雑誌	環軸関節回旋により脊髄圧迫が生じたC2神経根腫瘍.2例報告	日下部 隆	整形外科科学分野
整形・災害外科	頸椎前方すべりによる頸部脊髄症	小坪 知明	整形外科科学分野
日本整形外科学会雑誌	脂肪髄膜瘤による脊髄係留症候群に対する脊柱短縮骨切り術の手術成績	小澤 浩司	整形外科科学分野
日本整形外科学会雑誌	脊髄髄膜腫の臨床症状、手術成績について 神経鞘腫との比較	小澤 浩司	整形外科科学分野
日本整形外科学会雑誌	仙骨前面巨大神経鞘腫の治療	小澤 浩司	整形外科科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
運動療法と物理療法	中・高齢脊柱変形患者における背筋疲労現象に関する研究(第1報)	小澤 浩司	整形外科学分野
日本整形外科学会雑誌	東北大学および関連病院における脊椎手術の変遷 20年間の手術登録から	小澤 浩司	整形外科学分野
Surgery	Effects of biliary and pancreatic juice diversion into the ileum on gastrointestinal motility and gut hormone secretion in conscious dogs.	柴田 近	生体調節外科学分野
Surgery	Intracolonic capsaicin stimulates colonic motility and defecation in conscious dogs.	柴田 近	生体調節外科学分野
臨床外科	重症肥満に対する腹腔鏡下袖状胃切除術の成績 体重減少と肥満関連併存疾患の改善	木内 誠	生体調節外科学分野
外科治療	【もう一度学ぶ「ラパコレ」】「ラパコレ」困難例の予測とインフォームド・コンセント	海野 倫明	消化器外科学分野
外科	【術前・術後に要注意 併存疾患の手術リスクと対策】基礎疾患併存例の手術 循環器疾患	海野 倫明	消化器外科学分野
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Assessment of Frey procedures: Japanese experience.	江川 新一	消化器外科学分野
World J Gastroenterol.	Bone marrow cells produce nerve growth factor and promote angiogenesis around transplanted islets.	坂田 直昭	消化器外科学分野
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Correlation between angiogenesis and islet graft function in diabetic mice: magnetic resonance imaging assessment.	坂田 直昭	消化器外科学分野
Surg Today	How much of the pancreatic head should we resect in Frey's procedure?	坂田 直昭	消化器外科学分野
Pediatr Diabetes.	Hyperbaric oxygen therapy improves early posttransplant islet function.	坂田 直昭	消化器外科学分野
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Major hepatectomy for perihilar cholangiocarcinoma.	海野 倫明	消化器外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation	MRI assessment of ischemic liver after intraportal islet transplantation.	坂田 直昭	消化器外科学分野
Acta Ophthalmol	Chemokines in aqueous humour before and after intravitreal triamcinolone acetonide in eyes with macular oedema associated with branch retinal vein occlusion.	國方 彦志	眼科学分野
Eye (Lond)	Visual outcome and complications of 25-gauge vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment; 84 consecutive cases.	國方 彦志	眼科学分野
眼科ケア	手術を控えた患者さんが聞きたい5つの疑問に答える	布施 昇男	眼科学分野
Neuroreport	Calcium concentration in cochlear endolymph after vestibular labyrinth injury.	中谷 和弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Hear Res.	Effect of vestibular labyrinth destruction on endocochlear potential and potassium concentration of the cochlea.	中谷 和弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Acta Otolaryngol	Nasal instillation of physiological saline for patulous eustachian tube.	大島 猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Eur Arch Otorhinolaryngol.	Upregulation of IGF2 is associated with an acquired resistance for cis-diamminedichloroplatinum in human head and neck squamous cell carcinoma.	小川 武則	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
耳鼻咽喉科展望	中咽頭癌133例の臨床統計	鈴木 貴博	耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
Gan To Kagaku Ryoho	[Radical prostatectomy for high-risk prostate cancer].	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	「前立腺手術周術期管理の標準化」研究に基づくHoLEP術後のカテーテル抜去日の解析	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	「前立腺手術周術期管理の標準化」研究に基づくTURP術後の最適なカテーテル抜去日	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	「前立腺手術周術期管理の標準化」研究に基づく前立腺癌術後の最適なカテーテル抜去日	荒井 陽一	泌尿器科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Urology View	【夜間頻尿Update:もう外来で困らない】夜間頻尿と転倒骨折・死亡リスク	海法 康裕	泌尿器科学分野
J Urol	Alpha2-adrenoceptor blockade potentiates the effect of duloxetine on sneeze induced urethral continence reflex in rats.	宮里 実	泌尿器科学分野
Int J Urol	Characteristics and management of erectile dysfunction after various treatments for prostate cancer.	海法 康裕	泌尿器科学分野
Urology	Differential roles of M2 and M3 muscarinic receptor subtypes in modulation of bladder afferent activity in rats.	宮里 実	泌尿器科学分野
Int J Urol	Editorial comment to Feasibility of antegrade radical prostatectomy for clinically locally advanced prostate cancer: a comparative study with clinically localized disease.	石戸谷 滋人	泌尿器科学分野
Am J Physiol Renal Physiol	Ex vivo biomechanical, functional, and immunohistochemical alterations of adrenergic responses in the female urethra in a rat model of birth trauma.	宮里 実	泌尿器科学分野
Glycobiology	Ganglioside DSGb5, preferred ligand for Siglec-7, inhibits NK cell cytotoxicity against renal cell carcinoma cells.	伊藤 明宏	泌尿器科学分野
International Journal of Urology	IJU this issue	荒井 陽一	泌尿器科学分野
J Urol	Impact of nocturia on bone fracture and mortality in older individuals: a Japanese longitudinal cohort study.	中川 晴夫	泌尿器科学分野
Adv Urol	Impact of sacral surface therapeutic electrical stimulation on early recovery of urinary continence after radical retropubic prostatectomy: a pilot study.	中川 晴夫	泌尿器科学分野
Int J Urol	International Journal of Urology this issue.	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Int Urogynecol J Pelvic Floor Dysfunct	Novel rat model of stress urinary incontinence with a retroflexed bladder.	海法 康裕	泌尿器科学分野
Urology	Renal Hypothermia Using Ice-Cold Saline for Retroperitoneal Laparoscopic Partial Nephrectomy: Evaluation of Split Renal Function With Technetium-99m-Dimercaptosuccinic Acid Renal Scintigraphy.	荒井 陽一	泌尿器科学分野



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本性機能学会雑誌	Stage C前立腺癌治療後の性機能の長期的検討	荒井 陽一	泌尿器科学分野
J Urol	Suppression of detrusor-sphincter dyssynergia by herpes simplex virus vector mediated gene delivery of glutamic acid decarboxylase in spinal cord injured rats.	官里 実	泌尿器科学分野
日本癌治療学会誌	ガイドラインと臨床試験 前立腺癌	荒井 陽一	泌尿器科学分野
癌と化学療法	ハイリスク前立腺癌に対する手術療法の意義	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	全国クリニカルパス研究における、経尿道的前立腺手術の患者満足度調査	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	全国クリニカルパス研究における前立腺癌手術の患者満足度調査	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	全国的なパス標準化に基づく経尿道的前立腺手術における周術期管理法とアウトカムの変化	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Japanese Journal of Endourology and ESWL	全国的なパス標準化に基づく前立腺癌手術における周術期管理法とアウトカムの変化	荒井 陽一	泌尿器科学分野
Clin Anat	Human fetal anatomy of the coccygeal attachments of the levator ani muscle.	新倉 仁	婦人科学分野
産婦人科手術	広汎性子宮頸部摘出術における工夫 当院における広汎性子宮頸部摘出術の現状	新倉 仁	婦人科学分野
産婦人科の実際	【妊孕能の可能性と限界を考える】子宮体癌と生殖機能温存治療の実際	伊藤 潔	周産期医学分野
Fertil Steril	Aberrant behavior of mouse embryo development after blastomere biopsy as observed through time-lapse cinematography.	寺田 幸弘	周産期医学分野
Tohoku J Exp Med	Essential Roles of the Sperm Centrosome in Human Fertilization: Developing the Therapy for Fertilization Failure due to Sperm Centrosomal Dysfunction.(Invited Review for the 90th Anniversary)	寺田 幸弘	周産期医学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本がん検診・診断学会誌	HPV検査などを考慮した子宮頸がん検診の新たな運営	伊藤 潔	周産期医学分野
J Gynecol Surg	Laparoscopic removal of the rudimental uterus followed by colpopoiesis in a Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser syndrome patient with a functional endometrium and peritoneal endometriosis.	寺田 幸弘	周産期医学分野
J Assist Reprod Genetics	The shape of the sperm midpiece in intracytoplasmic morphologically selected sperm injection relates sperm centrosomal function.	寺田 幸弘	周産期医学分野
ナーシングケアQ&A(1349-0869)33号 Page82-83(2010.07)	【これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ&A(第2版)】気道確保 挿管困難時、ナースはどのような介助をしたらよいのですか?(Q&A/特集)	佐藤 大三	麻酔科学・周術期医学分野
ナーシングケアQ&A(1349-0869)33号 Page62-63(2010.07)	【これだけは知っておきたい手術室ナーシングQ&A(第2版)】脊髄くも膜下麻酔(脊椎麻酔) 局所麻酔薬にエピネフリンを添加する意義は何ですか?(Q&A/特集)	佐藤 大三	麻酔科学・周術期医学分野
Anesthesiology	Endothelial Progenitor Cell Mobilization Was Impaired in Patients with Neoadjuvant Chemotherapy	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
Anesthesiology	Volatile Anesthetics Promote Glucocorticoid-Induced Apoptosis of Murine Thymocytes In Vitro	黒澤 伸	麻酔科学・周術期医学分野
仙台赤十字病院医学雑誌	脊髄くも膜下麻酔の投与量と麻酔域 同一患者での検討	千葉 聡子	麻酔科学・周術期医学分野
Human Pathology	Dendritic cells in muscle lesions of sarcoidosis	豎山 真規	神経内科学分野
J Hum Genet	FALS with FUS mutation in Japan, with early onset, rapid progress and basophilic inclusion.	青木 正志	神経内科学分野
Brain Res	Feasibility study for functional test battery of SOD transgenic rat (H46R) and evaluation of edaravone, a free radical scavenger.	割田 仁	神経内科学分野
Brain	In vivo visualization of alpha-synuclein deposition by carbon-11-labelled 2-[2-(2-dimethylaminothiazol-5-yl)ethenyl]-6-[2-(fluoro)ethoxy]benzoxazole positron emission tomography in multiple system atrophy.	武田 篤	神経内科学分野
Neurology	Neuromyelitis optica preceded by hyperCKemia episode.	青木 正志	神経内科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol Sci	Neuronal NOS is dislocated during muscle atrophy in amyotrophic lateral sclerosis.	割田 仁	神経内科学分野
Neurochem Int	Role of TPPP/p25 on alpha-synuclein-mediated oligodendroglial degeneration and the protective effect of SIRT2 inhibition in a cellular model of multiple system atrophy.	長谷川 隆文	神経内科学分野
Neurosurg Rev	Association of stem cell marker CD133 expression with dissemination of glioblastomas.	隈部 俊宏	神経外科学分野
Neurosurg Rev	Dissemination limits the survival of patients with anaplastic ependymoma after extensive surgical resection, meticulous follow up, and intensive treatment for recurrence.	隈部 俊宏	神経外科学分野
J Neurooncol	Early detection of venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumor: efficacy of screening with serum D-dimer measurements and Doppler ultrasonography.	隈部 俊宏	神経外科学分野
J Neurosurg	Imaging of hypoxic lesions in patients with gliomas by using positron emission tomography with 1-(2-[18F] fluoro-1-[hydroxymethyl]ethoxy)methyl-2-nitroimidazole, a new 18F-labeled 2-nitroimidazole analog.	隈部 俊宏	神経外科学分野
Neurol Med Chir (Tokyo)	Insulo-opercular gliomas: four different natural progression patterns and implications for surgical indications.	隈部 俊宏	神経外科学分野
臨床脳波	側頭葉てんかんにおけるMEG棘波マッピングの役割	岩崎 真樹	神経外科学分野
脳神経外科ジャーナル	鈴木二郎・高久晃教授の低悪性度神経膠腫手術記録から学ぶべきこと	隈部 俊宏	神経外科学分野
Psychiatry Res	An association study on polymorphisms in the PEA15, ENTPD4, and GAS2L1 genes and schizophrenia.	伊藤 千裕	精神神経学分野
J Hypertens	Association of environmental tobacco smoke exposure with elevated home blood pressure in Japanese women: the Ohasama study.	井上 隆輔	医学情報学分野
J Hypertens	Atorvastatin upregulates nitric oxide synthases with Rho-kinase inhibition and Akt activation in the kidney of spontaneously hypertensive rats.	伊藤 修	内部障害学分野
J Hosp Infect	Bacteriology of aspiration pneumonia due to delayed triggering of the swallowing reflex in elderly patients.	海老原 覚	内部障害学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pulm Pharmacol Ther	Cough in the elderly: A novel strategy for preventing aspiration pneumonia.	海老原 覚	内部障害学分野
Am J Physiol Renal Physiol	Expression of adrenomedullin 2/intermedin, a possible reno-protective peptide, is decreased in the kidneys of rats with hypertension or renal failure.	森 信芳	内部障害学分野
Peptides	Expression of kisspeptins and kisspeptin receptor in the kidney of chronic renal failure rats.	森 信芳	内部障害学分野
Chest	Gender difference in perceptions of urge-to-cough induced by citric acid and dyspnea in healthy never-smokers.	海老原 覚	内部障害学分野
Cough	Perception of urge-to-cough and dyspnea in healthy smokers with decreased cough reflex sensitivity.	海老原 覚	内部障害学分野
Geriatr Gerontol Int	Red wine polyphenols and swallowing reflex in dysphagia.	海老原 覚	内部障害学分野
Kidney Int	Taste disturbance by angiotensin-converting enzyme inhibitors/angiotensin-2 receptor blockers.	海老原 覚	内部障害学分野
頭頸部癌	頭頸部癌治療後の摂食嚥下リハビリテーションが摂食嚥下機能とQOLに及ぼす効果	上月 正博	内部障害学分野
Anthropological Science	Supraorbital foramen and hypoglossal canal bridging revisited: their worldwide frequency distribution	百々 幸雄	人体構造学分野
J Oral Maxillofac Surg	Midfacial changes through distraction osteogenesis using a rigid external distraction system with retention plates in cleft lip and palate patients.	今井 啓道	形成外科学分野
日本頭蓋顎顔面外科学会誌	Nasai Bone-Clipを用いた鼻骨骨折の新しい固定法	館 正弘	形成外科学分野
J Reconstr Microsurg	Versatility of chimeric flap based on thoracodorsal vessels incorporating vascularized scapular bone and latissimus dorsi myocutaneous flap in reconstructing lower-extremity bone defects due to osteomyelitis.	館 正弘	形成外科学分野
創傷	フットセンター開設までの道のり	館 正弘	形成外科学分野

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
褥瘡会誌	褥瘡の手術適応の標準化と周術期管理方法の統一に向けてー(その1:坐骨部)50施設のアンケート調査の結果報告	館 正弘	形成外科学分野
治療学	【間質性肺炎と肺線維症 パラダイムシフト後の臨床】新しい時代に入った肺線維症治療	貫和 敏博	呼吸器病態学分野
Pulmonary Medicine	Gradual increase of high mobility group protein B1 (HMGB1) in the lungs after the onset of acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis	海老名 雅仁	呼吸器病態学分野
Lymphat Res Biol	The disappearance of subpleural and interlobular lymphatics in idiopathic pulmonary fibrosis.	海老名 雅仁	呼吸器病態学分野
日本胸部臨床	ゲフィチニブによる薬剤性間質性肺炎の管理 一般内科医への解説	貫和 敏博	呼吸器病態学分野
日本内科学会雑誌	下腿の腫脹、皮疹と多発リンパ節腫大で発症し呼吸不全に進展したM.szulgaiの1症例	太田 洋充	呼吸器病態学分野
日本医事新報	画像で見る肺癌分子標的薬EGFR-TKI治療の著効例(super-responder)	貫和 敏博	呼吸器病態学分野
日本医事新報	肺線維化抑制薬ピルフェニドンの薬理作用・適応	貫和 敏博	呼吸器病態学分野
治療学	特発性肺線維症 臨床試験のエビデンス形成	大河内 眞也	呼吸器病態学分野
Eur Respir J	Pirfenidone in idiopathic pulmonary fibrosis.	海老名 雅仁	呼吸器病態学分野
Molecular Therapy	Paracrine Factors of Multipotent Stromal Cells Ameliorate Lung Injury in an Elastase-induced Emphysema Model.	大河内 眞也	呼吸器病態学分野
Am J Respir Crit Care Med	Serial OX40 engagement on CD4+ T cells and natural killer T cells causes allergic airway inflammation.	菊地 利明	呼吸器病態学分野
Coron Artery Dis	Cardiac shock wave therapy ameliorates left ventricular remodeling after myocardial ischemia-reperfusion injury in pigs in vivo.	伊藤 健太	循環器先端医療開発学寄附講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J	Double-blind and placebo-controlled study of the effectiveness and safety of extracorporeal cardiac shock wave therapy for severe angina pectoris.	伊藤 健太	循環器先端医療開発学寄附講座
Eur J Vasc Endovasc Surg.	Extracorporeal shock wave therapy induces therapeutic lymphangiogenesis in a rat model of secondary lymphedema	伊藤 健太	循環器先端医療開発学寄附講座
Journal of Cardiac Failure	Both High and Low Body Mass Indexes are Prognostic Risks in Japanese Patients With Chronic Heart Failure: Implications From the CHART Study	柴 信行	循環器EBM開発学寄附講座
Circ J	Prevalence and Clinical Implication of Metabolic Syndrome in Chronic Heart Failure.	柴 信行	循環器EBM開発学寄附講座
J Pharmacol Exp Ther	Clarithromycin inhibits type a seasonal influenza virus infection in human airway epithelial cells.	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄附講座
Japan Medical Association Journal	Current Situations and Issues in Respiratory medicine in Japan	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄附講座
Biochem Biophys Res Commun	Inducible disruption of autophagy in the lung causes airway hyper-responsiveness.	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol	Inhibitory effects of carbocysteine on type A seasonal influenza virus infection in human airway epithelial cells.	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄附講座
Stem Cells Dev	Isolation and characterization of murine multipotent lung stem cells.	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座
Lab Invest	Isolation of alveolar epithelial type II progenitor cells from adult human lungs.	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座
Cell Therapy for Lung Disease	Lung Repair and Regeneration - Animal Models.	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座
Eur J Pharmacol	Procaterol inhibits rhinovirus infection in primary cultures of human tracheal epithelial cells.	山谷 睦雄	先進感染症予防学寄附講座
Chem.Eur. J.	Total synthesis and biological assessment of (-)-exiguolide and analogues.	久保 裕司	先進感染症予防学寄附講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem	Myosin-X induces filopodia by multiple elongation mechanism.	権田 幸祐	ナノ医科学寄附講座
Nanotechnology	Nano-imaging of the lymph network structure with quantum dots.	権田 幸祐	ナノ医科学寄附講座
Hypertension	Pulse pressure amplification, arterial stiffness, and peripheral wave reflection determine pulsatile flow waveform of the femoral artery.	橋本 潤一郎	中心血圧研究寄附講座
血液・腫瘍科	血液腫瘍化学療法施行時の高尿酸血症に対する rasburicase の有効性と安全性	石澤 賢一	血液分子治療学寄附講座
血液フロンティア	抗CD52抗体(アレムツズマブ)によるCLL/SLLの治療	石澤 賢一	血液分子治療学寄附講座
内科	慢性骨髄性白血病に対する新規薬物療法	石澤 賢一	血液分子治療学寄附講座
Am J Reprod Immunol	Establishment of long-term model throughout regular menstrual cycles in immunodeficient mice.	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座
Pathol Int	Steroid and Xenobiotic Receptor (SXR) as a possible prognostic marker in epithelial ovarian cancer.	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座
Diagn Ther Endosc	Total laparoscopic conservative surgery for an intramural ectopic pregnancy.	宇都宮 裕貴	周産期医療人材養成寄附講座
World J Emerg Surg	A case of gastropericardial fistula of a gastric tube after esophagectomy: a case report and review.	森 隆弘	東北がんプロフェッショナル養成プラン
Br J Cancer	Adiposity, adult weight change and breast cancer risk in postmenopausal Japanese women: the Miyagi Cohort Study.	河合 賢朗	東北がんプロフェッショナル養成プラン
Jpn J Clin Oncol	Randomized Controlled Trial on Effectiveness of Ultrasonography Screening for Breast Cancer in Women Aged 40-49 (J-START): Research Design.	河合 賢朗	東北がんプロフェッショナル養成プラン
J Gastroenterol	Incidence and risk factor of fundic gland polyp and hyperplastic polyp in long-term proton pump inhibitor therapy: a prospective study in Japan.	本郷 道夫	総合医療学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
心身医学	過敏性腸症候群におけるSelf Shift時の脳活動	佐藤 康弘	心療内科
心身医学	食道アカラシア患者におけるバルーン強制拡張術前後での透視所見とQOLの関連についての検討	佐藤 康弘	心療内科
BMC Geriatr	Dietary patterns associated with fall-related fracture in elderly Japanese: a population based prospective study.	門馬 靖武	卒後研修センター
Mol Cancer Ther	Systemic administration of polymeric nanoparticle-encapsulated curcumin (NanoCurc) blocks tumor growth and metastases in preclinical models of pancreatic cancer.	水間 正道	卒後研修センター
Kyobu Geka	[Experience of a vascular stent placement under bronchoscopy for a severe airway stenosis like a pinhole]	遠藤 千頭	呼吸器外科学分野
Ann Thorac Surg	Resection of apical lung carcinoma involving the vertebral artery.	櫻田 晃	呼吸器外科学分野
日本内視鏡外科学会雑誌	高リスク難治性気胸に対する治療方針の選択	野田 雅史	呼吸器外科学分野
Blood Cells Mol Dis	PRL-2 increases Epo and IL-3 responses in hematopoietic cells.	秋山 聖子	臨床腫瘍学分野
Lancet	Missing centenarians in Japan: a new ageism.	海老原 孝枝	老年医学分野
Virchows Arch	Histopathological subclassification of triple negative breast cancer using prognostic scoring system: five variables as candidates.	宮下 穰	乳腺外科
Jpn J Clin Oncol	Randomized controlled trial on effectiveness of ultrasonography screening for breast cancer in women aged 40-49 (J-START): research design.	大内 憲明	乳腺外科
Japanese Journal of Clinical Oncology doi	Capecitabine Monotherapy is Efficient and Safe in All Line Settings in Patients with Metastatic and Advanced Breast Cancer.	石田 孝宣	乳腺外科

計 219

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入する



## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 里見 進
管理担当者氏名	総務課長 富田 有一 ・ 医事課長 佐藤 俊男

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 医事課 医療情報室 各診療科 薬剤部	病歴資料については、ターミナルデジットファイリング法にて、入院患者は1入院1カルテ、外来は1患者1ファイルで、最終診療日から15年間保存、カルテ室で一元管理している。処方せんについては、1日毎・処方の区別毎に管理、入院分は更に病棟別に管理している。エックス線写真については、1患者1ファイルで各診療科で管理している。その他については、各部署で月毎や年毎に管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	患者数関係については、月毎に集計を行い電子媒体で管理している。調剤の枚数については、月毎に集計、紙・電子媒体で管理している。高度の医療の実績関係については、診療科・総務課等からデータをもらい、年度毎に一覧を作成し、紙・電子媒体で管理している。その他については、各部署で月毎や年度毎に管理している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課 及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室		

年度毎に整理し、紙媒体にてファイル保存している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長	里見 進		
閲覧担当者氏名	総務課長	富田 有一	医事課長	佐藤 俊男
閲覧の求めに応じる場所	会議室			

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	91.2 %	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数	25,156 人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,376 人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,814 人		
D: 初診の患者の数	32,325 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内における安全管理に関する基本的な考え方</li><li>● 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項</li><li>● 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本関係</li><li>● 院内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>● 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>● 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>● 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>● その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療に関する安全管理指針に関すること。</li><li>(2) 医療の安全管理体制の確保に関すること。</li><li>(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。</li><li>(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。</li><li>(5) 発生した医療事故及び医事紛争への対応方法及び情報収集の方針に関すること。</li><li>(6) 医薬品及び医療機器の安全管理に関すること。</li><li>(7) その他医療の安全管理等に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について研修会（新規採用者対象オリエンテーション、中途採用者対象医療安全講習会）</li><li>● 具体的事例を取り上げた職種横断的な演習（年 5 回）</li><li>● 医療安全管理全般に関する定期講演会（年 2 回）</li><li>● その他医療安全管理に関する研修会（随時）</li></ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 事故又はインシデント事例が発生した場合は直ちに院内インシデント報告制度に基づき医療安全管理部門へ報告すること。</li><li>● 事故又はインシデント事例の報告を受けた安全管理部門は院内マニュアルに従い事例についての情報を収集、分析を行い、問題点を把握し改善策を検討すること。</li><li>● 重大事例の発生時には院内マニュアルに従い速やかに管理者へ報告を行い、必要に応じて事故調査委員会を設置、原因の分析を行うと共に効果的な再発防止策を検討すること。</li></ul>	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	⑤ (3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	⑤ (2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	⑤・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任（４）名 兼任（２９）名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療にかかる安全管理のための委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他の医療に係る安全管理のための委員会の庶務に関すること。</li> <li>② 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>③ 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>④ 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>⑤ 医療安全にかかる連絡調整に関すること。</li> <li>⑥ 医療安全対策の推進に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	⑤・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>委員会等の組織に関する基本的事項</li><li>職員研修に関する基本方針</li><li>発生状況の報告に関する基本方針</li><li>感染症発生時対応に関する基本方針</li><li>指針の閲覧に関する基本方針</li><li>その他の必要な基本方針</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年10回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内感染対策のための委員会の管理及び運営に関する規程の整備を行うこと。</li><li>● 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者へ報告すること。</li><li>● 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図ること。</li><li>● 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年37回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策についての研修会(新規採用者対象オリエンテーション)</li><li>● 院内感染管理に則した研修(感染対策病棟講習会、感染対策に関するDVD研修会)</li><li>● 感染管理全般に関する定期講演会(年2回)</li><li>● その他感染管理に関する研修会(随時)</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 「院内感染対策のための指針」に則した院内感染対策マニュアルの整備及び見直し。</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
・ 研修の主な内容： <input type="radio"/> 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する研修 <input type="radio"/> 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書についての研修 <input type="radio"/> 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する研修	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) ・ 業務の主な内容： 院内で用いる医薬品の採用及び購入に関する業務 医薬品の管理に関する業務 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する業務 患者に対する与薬	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <input type="radio"/> 医薬品安全管理室が医療安全巡視を実施 (年2回) <input type="radio"/> 病棟又は外来診療科への巡視を薬剤師が月1回実施 <input type="radio"/> 医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 9 回
・ 研修の主な内容： <input type="radio"/> 医療機器の有効性・安全性に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の使用法に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の保守点検に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の不具合等が生じた場合の対応に関する研修 <input type="radio"/> 医療機器の使用に関しての法令に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) ・ 保守点検の主な内容： <input type="radio"/> 始業点検・終業点検・日常点検・定期点検 <input type="radio"/> 施設内部点検 <input type="radio"/> 外部委託点検 上記保守点検についての ① 実施状況、使用状況、修理状況、購入年の把握及び記録 ② 保守点検の実施状況の評価及び医療安全の観点からの保守点検計画の見直し	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <input type="radio"/> 添付文書等の管理 <input type="radio"/> 医療機器関連情報の病院管理者への報告 <input type="radio"/> 月 1 回の「医療機器点検の日」実施による機器の点検及び院内の意識啓発	